



貴方の主治医は専門医資格者ですか？

山口大学・山口県立大学名誉教授 江里 健輔 先生

医学・医療が進歩し、ガンは早期に診断されるようになりました。早期に手術を受けると、術後に抗ガン剤や放射線治療を受けることなく、100%ガンから生還となります。

現在では、胃ガンには胃内視鏡検査、大腸ガンには便潜血反応、脳・肺・肝臓・腎臓・膵臓などガンにはCTやMRI、乳ガンにはマンモグラフィー、前立腺ガンにはPSA検査、子宮ガンは細胞診で早期に見つかります。問題はCT・MRIなどの読影医師、あるいは内視鏡検査を施行した医師が経験豊富であるかどうかです。

例えば、5mmの大きさの胃ガンが見つけれられるとガンは粘膜に存在しているだけですから、転移もなく、摘除すれば完全治癒となります(付図1)。しかし、付図2に示すような状態で見つけれられても、既にリンパ節や他の臓器に転移している可能性がありますので、胃切除を受けても術後薬物療法や免疫療法などの抗ガン治療を受けなくてはなりません。そうなると、患者さんの苦痛や医療費などの負担は計りしれません。患者さんから「私は毎年、人間ドックを受けているのに、何故、早期に見つからなかったのでしょうか？」という質問を受けますが、検査した医師の診断能力が低かったためです。

では、どのような医師が信用できるのでしょうか？

専門医であることです。

専門医とは「それぞれの診療領域について適切な教育を受け、十分な知識と経験を持っている医師」です(専門医の在り方に関する検討会報告書引用)。

従って、メディアが取り上げる「神の手を持つ医師」や「スーパードクター」を意味するものではありません。また、「標榜医」や「認定医」とは異なり、これらの上位資格のある医師です。従来は各学会で専門医制度を設けていましたが、学会により、認定制度が異なるため、統一する必要があるということで、中立的な第三者機関を設立し、専門医の養成プログラムに沿って評価・認定を統一に行うようになりました。

従って、信頼度の高い専門医として位置づけられています。平成24年の調査で、専門医や認定医の資格を取りたいと思っている医師は実に95%以上に達しています。

診察を受ける時には専門資格を持っている医師かどうかを調べて、受診されることをお勧めします。

今受診されている貴方の医師は専門医の資格をもっておられますか？

付図1: 粘膜型(早期胃ガン)

他臓器への転移がないため、術後治療は必要ない。



付図2: 潰瘍浸潤型(進行胃ガン)

すでに他臓器へ転移している可能性が高い。術後抗ガン治療が必要となる。



全国健康保険協会 山口支部

協会けんぽ

協会けんぽ 山口支部

検索

〒754-8522

山口市小郡下郷312番地2 山本ビル第3

TEL: 083-974-0530 (代表)

受付: 平日8:30 ~ 17:15